読むだけで潜在能力を開花させる
絵本36選

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

著作権について

本書は著作権法で保護されている著作物です。
本書の取り扱いには以下の 点にご注意下さい。
本書の著作権はオフィスWith(以下、乙と称す)に 帰属します。
本書の開封を以って下記の事項に同意したものとみなします。

λ 本書は極めて秘匿性の高い内容となっております。従って乙に許可な く、本書 の一部または全部をあらゆるデーター蓄積手段 (印刷・複製・流 用・転売・公衆 送信等)により、複製・流用およびウェブサイトへ転載する 等の行為を固く禁じます。

λ 著作権等の違反行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行 なった 時は関係法規に基づき損害賠償請求を行なうなど、民事・刑事を問 わず法的手段による解決を行なう場合があります。

λ 本書に謳われている情報は作成時点での著者の見解等です。著者は事前 許可を得ずに誤りの訂正・情報の最新化並びに見解の変更等を行なう権利 を有します。

「免責事項」

本ウェブサイトへの情報掲載にあたって細心の注意を払っておりますが、その内容に誤りや欠陥があった場合にも如何なる保証をするものではありま せん。
本書をご利用いただいた事により生じた損害につきましても、一切の責任を 負いかねます。
※インターネットでの公開や悪質な書き込みを行なった事が確認された場合 は厳正に対処させて頂きます。

【推奨環境】

電子書籍に記載されている **URL** はクリック出来ます。
見れない場合最新**AdobeReader**を下記ページよりダウンロードして下さい。
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

絵本、本は毎日と言っていいほど出版されています。

初版が古い年代の本で、現在も購入が可能な本、
またはイラストなどを新しい作家さんにお願いして
新しく出版されている本はというのも
何十年も読み継がれている良書と言えます。

この良書リストは我が子のウケがいいと言うよりは、
読み手のお母様も一緒に考えながら読んでほしいリストです。

絵本を読み聞かせて気付いている方もいるでしょうが
最後まで読んで「あら？ここでおしまい？」「で、何が言いたいの？」
こんな風に思う絵本に出会う時があります。

また、どうしてこのような絵なの？と不思議に思うものもあります。
絵本というものは物語の内容はもちろん、絵も重要な役割を果たします。
そして制作者の意図が必ず表現されています。

読み聞かせが終わった後に子どもにどう語りかけるか？
ここが一番大切な部分なのです。

リストの絵本はたくさんの問題提起がされています。
ですから、最初から興味をひく本と言うよりは
何度も読み聞かせて、徐々に好きになるような絵本ばかりです。

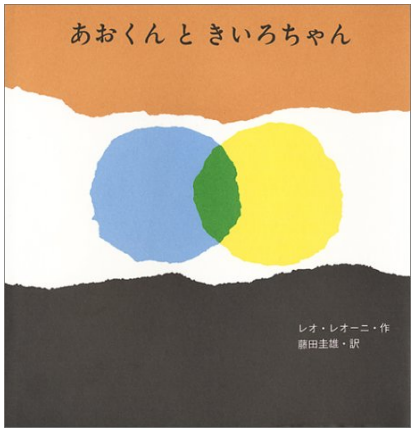
お話の内容は月齢では難しいものや時間がかかるものがあります。
そのような場合は絵の部分だけを見せて
語りかけてみたり、お話の内容を端折って読み聞かせてみてください。

皆様の読み聞かせる絵本の参考にしていただけると嬉しいです。

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

BOOK	LINK	POINT
	https://amzn.to/2zP3rlG https://amzn.to/2NOvRV5 https://amzn.to/2NLn5H8	自分でページをめくれるようになると喜んで何回もおねだりがきます。シリーズで何冊も出版されているので、お気に入りの１冊を見つけやすいですね。 視覚的、遊び感覚、手先を使うあらゆる面で万能な絵本です。
	https://amzn.to/34laTTj	元祖『いないいないばあ』本です。 0歳の子どもたちは大好きな遊びです。 柔らかい絵も感性を刺激する絵本と言えます。
	https://amzn.to/2zPSdNy	色の原点『しろ、あか、くろ』視覚を刺激する絵本です。 単純な絵もすごく見やすく 月齢の小さいお子さんにオススメです。
	https://amzn.to/2MSXJHR	赤ちゃんの視覚にフォーカスした絵本です。 しましま、ぐるぐる、顔を あか、しろ、くろでしっかりと視覚的に遊べる絵本です。

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

BOOK	LINK	POINT
	https://amzn.to/2MUb82c	単純な絵から想像力を発揮します。 こどもの本に初めて抽象表現を取り入れた作品として、歴史残る名作といわれる絵本です。 0歳から喜んで見る子は見ます。
	https://amzn.to/30TRYNB	本物を見せたい時の絵本です。 名前を覚えたり、季節もので本物を見せることができない時に重宝しました。 わたしは絵に漢字で文字を大きく記入して読み聞かせしていました。 情報カードの役割をさせるためです。
	https://amzn.to/30RMCCs https://amzn.to/2ZzlMSf	まずはこの１冊から・・・ ４冊でセットのシリーズです。 林明子さんの絵が可愛らしく、サイズも子どもが持ちやすい大きさです。 1人で読み始める本の定番です。
	https://amzn.to/32reptC	大好きな、せなけいこさんの作品です。 切り絵がとにかく暖かい！ お話もご自身のお子さんに向けて作られている作品が多く、とても共感できる内容のものが多いです。 せなさんデビューとしてはまずはこのセットからがオススメです。

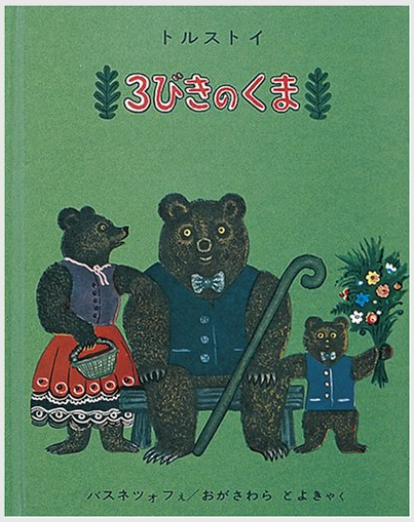
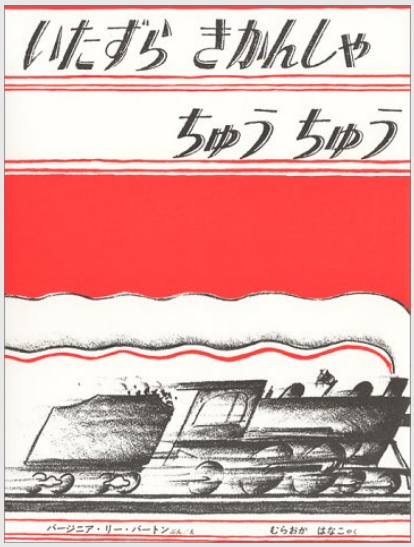
Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

BOOK	LINK	POINT
	https://amzn.to/2ZlRlc8	柔らかい絵です。 とてもほっこりします。 電話が黒電話なところもすごい！ それだけ長年にわたり愛読されている良書です。 黒電話を見たことない親御さんもここで勉強してお子様と話し合ってみるのもいいですね。
	https://amzn.to/2NJddxM	うさぎがワンピースを作ってお出かけする物語です。 スキップしてお出かけするところはリズムがよく 何度も読み聞かせをおねだりします。 不思議なことに男の子でも大ウケでした。
	https://amzn.to/2HXx099	これは誰もが知っている有名な絵本で世界中にファンがいます。 とにかく色使いが秒逸です。 仕掛け絵本の要素も入っていますので、気にいるとボロボロになるまで見ている可能性があります。
	https://amzn.to/2HJ7pR0	思いやりの言葉がいっぱいです。 心の教育にはもってこいです。 絵もほのぼのしていて可愛らしくて、繰り返しの言葉が子どもの脳に刷り込まれていく感じでしょうか？ 思いやりとは自然にできるようにならないと意味がありません。 何度も読み聞かせて欲しい１冊です。

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

BOOK	LINK	POINT
	https://amzn.to/2HKPUQf	ホットケーキ作りたくなりますよ。 面倒でも付き合ってあげてください。 絵が単純で使われている色使いも子どもの視覚に訴えるオレンジベースでユニークな絵本です。
	https://amzn.to/2HHgvxu	助詞の勉強がいつの間にかできちゃう優れた絵本です。 真っ赤なだるまさんも可愛らしくって・・・ だるまって何？の疑問にも答えてあげるとベストですね。
	https://amzn.to/2HlKPrw	色々なことに挑戦するけれどどれも失敗してしまうぐるんぱが最後には自分の一番かか焼ける場所を見つけると言うお話です。 必ず自分の居場所があると教えてくれるとてもあったかいお話です。
	https://amzn.to/34hWHul	絵を描くことの楽しみが伝わるお話です。 絵の具は小さい子どもにはハードルが高く、憧れでもあります。 新しいことへの挑戦とワクワクが伝わるお話です。

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

BOOK	LINK	POINT
	https://amzn.to/30RNuHe	ぐりぐらぐりぐら・・・ 言葉の繰り返しが楽しい絵本です。 沢山の動物も登場してくる楽しい１冊です。 気に入ったらシリーズ本もどうぞ！
	https://amzn.to/34oSFQT	大きいくま、中くらいのくま、小さいくまと森に迷い込んできた女の子のほのぼのとしたやり取りが楽しいお話です。 小さい子どもは大きい小さいを学び、くま家族の生活ぶりに家庭の安心感や優しさを学びます。 1962年初版 長く子どもたちに愛されてきた良書です。
	https://amzn.to/2zOjHDl	昔、TVのコマーシャルに採用された事もある、有名なお話です。 子どもと動物の出会いはなぜかドキドキする冒険の始まりです。
	https://amzn.to/2zMDoLA	アメリカで出版されたのが1937年、邦訳が1961年のミリオンセラーです。 絵はモノクロでこの荒削りなところがかえって機関車を取り巻く臨場感を引き立てます。 独り立ちしたい、でもそこにはいろんな困難が待っている。 でも必ず誰かが助けてくれる。 暖かく迎えてくれる・・・ 男の子にも女の子にも読んでほしい１冊です。

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

BOOK	LINK	POINT
	https://amzn.to/34pTWYf	子どもの中には小さい頃から一緒に育ったぬいぐるみを大切に持っている子がいます。 この絵本を読むとなんともこんとあきとのやり取りが切なくて・・・ 毎度、こんの健気さにウルウルします。 はじめて1人で何かするときや挑戦する時に頑張れる絵本です。
	https://amzn.to/34m3SBT	華やかさはない絵本ですが、なんとも奥深いじわじわとしみる絵本です。 子どもたちがせがむほどではない本かもしれませんが、シンプルさがかえって想像力を掻き立てる良書です。
	https://amzn.to/30RNHu0	ちいさいおうちの環境がどんどん変わっていくお話です。 新しい、古い、環境問題、自然と可愛らしい絵に大きな問題提起がされている絵本です。 何度も何度も絵を見せてあげるだけでも喜ぶ１冊です。
	https://amzn.to/2HLOW6u	大人の絵本としても人気です。内容は命の輪廻転生、生と死と言うなんとも深い話です。 不思議と最後は猫がなくなってしまうのに悲しいと言うよりもよかったね。と思えるような感情になります。 小さい子どもたちには難しいかな？

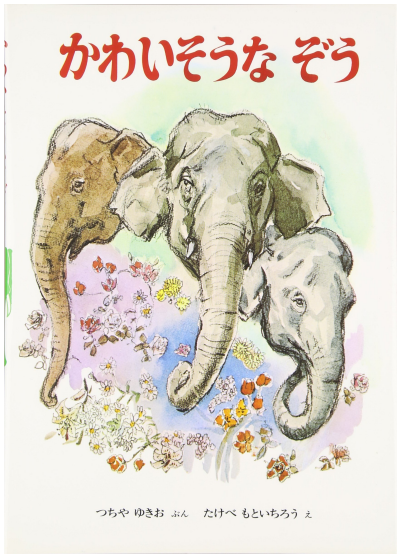
Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

BOOK	LINK	POINT
	https://amzn.to/2NP1hKI	ノルウェーの昔話です。すでに50年以上、世界中の子どもたちに愛読されている絵本です。 絵は独特な線描が美しく、やぎたちと戦うトロルの怖さが引き立ちます。 怖いと思ってしまうお子さんもいるかと思いますが、家族みんなで困難に立ち向かう姿を表現している１冊です。
	https://amzn.to/34hWVlb	なんとなくもの哀しい、優しいお話です。 絵もとても柔らかくキツネの可愛さが表現されています。 静かな感じのお話なので反応はそれぞれです。 しかし、読み聞かせというのは 色々な感情を引き出すために 時にはこのようなお話をしてあげる事も必要です。
	https://amzn.to/2HGMlW0	片方の手ぶくろにどんどん動物たちが入っていきます。 「それ無理でしょ！」と言う大人の発想はやめて、子どもに読んであげましょう。 繰り返しの文書、どんどん増えていく動物が最初から全部言えるかな？ リズム、記憶、不可能を可能にしている楽しさがいっぱいのウクライナ民話です。
	https://amzn.to/2HlLUj4	絵巻物のような絵が印象的な絵本です。 お話が終わっても・・・なぜ？が残る構成になっています。 この本を読み終えた後はお子さんと一緒に話し合うと思いも寄らな意見を聞く事ができるかもです。

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

BOOK	LINK	POINT
	https://amzn.to/2HXy1Ov	1988年から差別問題で絶版になった１冊です。 現在、再出版されている良書です。 昔は国語の教科書にもなっていたのに、若い親御さんでご存知ない方もいるかもしれません。 大変、楽しいお話で読み終わった後は絶対に「ホットケーキ食べ痛い！」と言われます。
	https://amzn.to/30Y8axa	これは怖いです。 お子さんによっては震え上がります。 でも、怖いもの見たさで読んでくれとせがむ場合もあります。 ちょっと怖いけれど・・・ でも、面白い日本の昔話ですね。 お子様の様子を見て読み聞かせてください。
	https://amzn.to/30VxoMu	昔話に登場する鬼、山姥というのは実は悪者ではないですね。 孤独であったり、疎外感を受けていたり本当はみんなと交じり合いたいと思っているのです。 このお話もそんなお話でとても暖かいちょっとお茶目な山姥を見たような気分になります。
	https://amzn.to/2PDboF4	なぜか子どもというのは『うんこ』とか『おなら』に過敏に反応して大好きです。 このお話も可愛いお嫁さんが実は・・・という、意外性と問題解決のキーワードが『おなら』という愉快な組み合わせです。 ハマる子は何度もせがみます。

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.

BOOK	LINK	POINT
	https://amzn.to/2HHYQ9a	1人では何もできないけれど みんなで力を合わせたら、なんでもできるよ！と言うお話です。 誰もが知っているお話はいつの日も新鮮に読まれています。
	https://amzn.to/34kouuf	みんなが主人公のかんたになりたいと思うお話です。 そして、何があってもお母さんは最強で母親の株があがるありがたい絵本でもあります。
	https://amzn.to/2PGcUGq	『そして、トンキーもしんだ』のやさしいバージョンの本と言われています。 戦争、動物の殺処分などの重いテーマの本ですが 読み聞かせの目的は色々な事を疑似体験させる事もあると思います。 戦争を知らなくても、想像して考えて、正しい選択ができる子にしたいものです。
	https://amzn.to/2MTBrG6	佐野洋子さんの作品は大人も楽しめる絵本が多いです。 さて、この絵本は何を提起しているのでしょうか？ ものの価値はどこで測られるのでしょうか？ 読み聞かせとは 読んであげる大人がその意図やなぜ？を汲み取って、子どもと向き合うものだと思います。 大きくなっても大切に読みたい絵本の１つですね。

Copyright©2019オフィスWith All Rights Reserved.